

地理歴史科（世界史探究）学習指導案

- 1 履修単位数 3単位
- 2 実施日時 令和6（2024）年 月 日（ ） 限目
- 3 学級 ○○ホームルーム（○名）
- 4 使用教科書 詳説世界史（山川出版社）
- 5 単元名 ヨーロッパ世界の形成

6 単元設定の理由

<生徒観>

本クラスの生徒は○○学科の生徒で、積極的ではないが、教員側からの問いなどにはしっかり答え、課題にも真面目に取り組んでいる。知識のみの獲得ではなく、協働した深い学びを期待する。

<教材観>

中世ヨーロッパ社会の形成過程とそれによって形成された社会構造を学び、ヨーロッパ社会が置かれた状態から、その独自性と諸事象の背景について理解する。また、中世ヨーロッパにおける民族移動や異民族の流入が、ヨーロッパ世界にどのような影響を与え、現在のヨーロッパ世界とどのようなつながりがあるか考え、その意義について考察させる。

<指導観>

一般的な知識の習得に加え、資料を読み取ることにより、より具体的に当時の人々の感情や思考に触れることで、多面的・多角的に考察することをめざしたい。また、協働性と表現力を育むことをねらいとして、ペアやグループで読み取ったことを互いに共有する作業を随所で取り入れる。

7 単元の目標

- ・ヨーロッパ世界の形成と展開について、年表、地図、歴史的資料などを基に地理的条件や社会的背景、その後の変容について理解する。（知識及び技能）
- ・文学資料や絵画資料をもとに、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、ヨーロッパの社会や文化の特徴を多面的・多角的に考察し、わかりやすく表現する。（思考力、判断力、表現力等）
- ・ヨーロッパ世界の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

【単元の基軸となる問い】

東西ヨーロッパは、どのようにして独自の世界を形づくっていったのだろうか。

8 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ヨーロッパの世界の形成と展開について、年表、地図、歴史的資料などに基づき地理的条件や社会的背景、その後の変容について理解している。	・文学資料や絵画資料をもとに、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、ヨーロッパの社会や文化の特徴を多面的・多角的に考察し、わかりやすく表現している。	・ヨーロッパ世界の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。

9 指導と評価の計画 単元名 ヨーロッパ世界の形成 (全4時間)

第一次 ゲルマン人の移動とビザンツ帝国の成立・・・【○知、●思】

第二次 フランク王国の発展とローマ＝カトリック教会の成長・・・【●知、○思】

第三次 分裂するフランク王国と外部勢力の侵入・・・【○知、●態】

第四次 封建社会の成立・・・【○知、○思】 (本時4／4)

単元の指導計画 (○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

時程	学習活動	評価の観点			評価規準等
		知	思	態	
第一次 (1時間)	【単元の基軸となる問い】 東西ヨーロッパは、どのようにして独自の世界を形づくっていったのだろうか。				
	【第一次の問い】 諸民族の侵入は、西ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか。				
	<ul style="list-style-type: none">・パワーポイントを使用し、西ヨーロッパのゲルマン人諸民族の移動経由と国家について、図を用いて確認する。・分裂初期のビザンツ帝国の動向について確認し、ビザンツ帝国が長く繁栄した要因について考察する。・本時のまとめとキーワードの復習をワークシートと問題集で行う。	○	●		<div>(評価資料)：ワークシート、問題集</div> <ul style="list-style-type: none">●地図上からビザンツ帝国が繁栄し続けた理由を推測し判断している。○西ヨーロッパへ諸民族が侵入した影響を理解している。
第二次 (1時間)	【第二次の問い】 なぜローマ教会はフランク王国と手を組んだのだろうか。				
	<ul style="list-style-type: none">・フランク王国が他の国家と違い、短命に終わらなかった理由をローマ＝カトリック教会と関連付けて理解する。・フランク王国の発展とローマ＝カトリック教会との関係の深化をワークシートに記入しながら考察する。	●	○		<div>(評価資料)：ワークシート、観察</div> <ul style="list-style-type: none">●ゲルマン諸国家の興亡について、フランク王国が短命に終わらなかった理由について理解している。○フランク王国の発展がもたらしたヨーロッパへの影響として政治面・宗教面からそれぞれ考察している。

第三次 (1時間)	【第三次の問い】フランク王国の分裂やノルマン人の侵入は、ヨーロッパ社会の形成にどのような役割をもっていたのだろうか。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・フランク王国の分裂とその後、ノルマン人の侵入経路と各地での活動について、ワークシートと地図に記入して把握する。 ・フランク王国分裂後とノルマン人の移動後のヨーロッパを外観して現在のヨーロッパとのつながりについて課題をもって追究する。 	○	●	(評価資料)：ワークシート、観察 ○分裂後のフランク王国の経過と、ノルマン族の移動経路とその後の活動が、図とワークシートに適切にまとめられている。 ●フランク王国とノルマン人の移動、露や伊、独、仏など、現在の国々とのつながりについて、主体的に追究しようとしている。
第四次 本時 (1時間)	【本時の問い】西ヨーロッパの封建社会で人々はどのように暮らしていたのだろうか。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・中世の西ヨーロッパ社会の基本的な用語を確認するとともに、ヨーロッパの封建社会の展開を構造的に理解する。 ・資料を用いて、当時の人々の生活からヨーロッパ社会の特徴について考察する。 	○	○	(評価資料)：ワークシート、観察、学習支援アプリ (Quizlet) ○ヨーロッパ社会の社会構造とその特徴について理解している。 ○資料から必要な情報を読み取り、中世の人々の生活について、他者と協力しながら考察している。

10 本時の指導目標

西ヨーロッパの封建社会をテーマに、当時の人々がおかれている環境と生活について、慣習の具体例に触れ、そこで暮らす人々の生活の様子を想像する。また資料から情報を読み取り、既習の学習内容と関連させることで理解を深める。

11 本時の展開 【50 分】

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的評価規準	評価方法
導入 10分	【単元の基軸となる問い】 東西ヨーロッパは、どのようにして独自の世界を形づくっていったのだろうか。			
	【本時の問い】西ヨーロッパの封建社会で人々はどのように暮らしていたのだろうか。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りクイズを通じて、これまでのヨーロッパの諸民族の侵入と封建社会の基本的事項について想起する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援アプリ Quizlet を用いて外敵の侵入が度重なった状態について把握させ、当時の人々が欲したものは何か考えさせる。 		

展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパの社会の構造について、ワークシートを用いて確認する。 ・封建的主従関係について、資料を読み解きながら特徴をまとめる。 ・封建的主従関係や中世ヨーロッパの荘園の人々の暮らしの特徴を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・封建社会の特徴や仕組みについて、図を用いて理解する。 ・資料を用いて気づいた点をお互いに伝え、協力して読み取るように指示する。 ・資料から農奴として生活する人々の心情について想像させる。 	<p>○ヨーロッパ社会の社会構造とその特徴について理解している。 【知】</p> <p>○資料から必要な情報を読み取り、中世の人々の生活について考察している。 【思】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへの記入 ・ワークの観察
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・世界史要点ノートによって本時の学習内容についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の全体像を把握する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの確認

12 評価の目安と目標実現のための手立て

【知識・技能】

A	十分満足できる	・資料から社会の特徴を適切に読み取り、中世西ヨーロッパの社会構造とその特徴について理解している。
B	おおむね満足できる	・中世西ヨーロッパ社会の社会構造とその特徴について理解している。
C	Bを満たさない生徒への具体的な手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・問題プリントにより西ヨーロッパ社会の知識を確認する。 ・資料の読み取りにより、当時の人々の生活について感想を書き、理解度を確認する。

【思考・判断・表現】

A	十分満足できる	・資料を読み取ることができ、資料の示す意図や人々の心情にまで、他者と協力しながら多面的・多角的に考察している。
B	おおむね満足できる	・資料から必要な情報を読み取り、中世の人々の生活について、他者と協力しながら考察している。
C	Bを満たさない生徒への具体的な手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・問題プリントにより西ヨーロッパ社会の知識を確認する。 ・資料の読み取りにより、当時の人々の生活について感想を書き、理解度を確認する。